



2017-2018 年度 会長: 立花 徳久 会長エレクト: 三田 望 幹事: 阿部 一郎
例会日: 毎週火曜日 12:30~13:30 会場: ホテル花城 0198-22-2333
事務局: 〒025-0075 岩手県花巻市花城町 10-27 花巻商工会議所内 0198-41-1133
Mail: hrc@hanamaki-cci.or.jp URL: <http://www.hanamaki-rc.com>

9 月 RI 月間テーマ「基本的教育と識字率向上」 第 3059 回例会/No.09 2017 年 9 月 5 日

◆例会プログラム

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング斉唱
4. 四つのテスト
5. 会長の時間
6. 慶祝・慶祝者スピーチ
7. 幹事および委員会報告
8. 出席報告
9. ニコニコボックス
10. 閉会点鐘

◆幹事報告

- ・ロータリー財団室 NEWS [ロータリー財団]
- ・9 月ロータリーレート 1 ドル=109 円 [ガバナー事務所]
- ・花巻商工会議所創立 70 周年記念式典のご案内
[花巻商工会議所 会頭 宮澤 啓祐]
- ・2017-18 年度 RI 第 2520 地区「RLI 研修会」
[2017-18 年度地区 RLI 研修小委員会 委員長 佐々木 光利]
- ・広報誌 ROTARY ロータリー世界と日本注文書
[ロータリーの友事務所]
- ・花巻市友好都市交流委員会情報誌「ひと花」第 10 号の配布
について [花巻市友好都市交流委員会 会長 宮澤 啓祐]

◆第 3058 (8/29) 例会の概要

■会長の時間「7 回/48 回」立花 徳久 君



こんにちは。今日は富士大学副学長中村良則教授にお越しいただき、ありがとうございます。今まで「大学と地域」について考えたことはなく、ご講演いただけるということで感謝しております。

今日は早朝から枕元でスマホの「アラート」が鳴りはじめて何かと確認してみたら、「北朝鮮からミサイル発射」という内容でした。とうとう来たか、やっぱり発射したかと納得しておりましたが、その後は株式市場で株価が下落し北朝鮮リスクと株価が連動していることを再認識しました。

話は変わりますが、昨日 4K 放送の番組を見ていました。番組はフィルムで撮影された前回の東京オリンピック開催に向けた整備中の様子 (1963 年) を 4K にリマスターしたものでした。当時の映像はフィルムで撮影されているため、画面が粗雑でしたが、4K で見ると当時の様子を放送しているにも関わらず、超高精細な画質のため、当時の人々の生活を今、目の前で感じているかのような感覚を味わいながら見ることが出来ました。一番感じた事は丸ノ内、大手町、千代田区といった東京駅周辺のビジネス街の映像を見ると、男性の服装は現在と殆ど変わりません。夏場は白のワイシャツにネクタイ着用といったスタイルです。一方、女性の服装は今と全く違ってあります。髪形においても男性は当時と変わりませんが、女性はカラーで髪をアップしたりと女性の服装、髪形を観察することで時代を読み取れるのは興味深いと感じました。4K 画面で当時の様子を見ると画面が鮮明のため、走行している車も綺麗に映っており、フェアレディー 310 等当時の車が懐かしく感じました。1963 年、私は幼稚園の年長で当時の映像を観ることで記憶が蘇り、小学校時代に車で

遊んでいた時が懐かしく思い出されました。何故、このような話をするかと言うと、北朝鮮の風景を見ると日本の 1963 年当時の生活と変わらないのにロケット等の最先端の武器を所有し、バランスが取れているのかという疑問です。現実にはバランスが取れず、国内の内部体制は崩壊寸前に陥っているものと予想します。最後は力づくで押さえつける方法しかないのだと思います。

また、当時 (1963 年) の総理大臣池田隼人、1964 年に就任した佐藤栄作の姿が放送されているのを見て懐かしく感じられました。当時は日本も真実が国民に伝えられず、全てが一部の政治家によって決定されていたにもかかわらず、戦争が終了したことで平和になったと満足感を得ていたのでしょうか。逆に現代の私達は何でも情報が入るため、不満が生じ、どちらの時代がよいのか判断に迷いますが、情報を自由に入手出来る幸せを感じております。先程、皆さんに聞いて頂いた『南部酒屋唄』は南部杜氏の方々が昔から歌っていたワークソングを JAZZ ミュージシャンの佐藤澄子さんがアレンジした曲です。情報があるからクロスオーバーし、色んなものが一緒に作品として出来上がることは素晴らしいことです。伝統文化を残すためにはこのような試みも必要と考えております。この後は中村先生のゲストスピーチが控えておりますので、私のお話はこれで終了させていただきます。どうも、ありがとうございます。

◆ゲストスピーチ 富士大学副学長 (異文化交流センター長) 中村良則 経済学部教授

■「富士大学と地域」中村 良則 様



はじめまして、富士大学の中村と申します。佐々木さんから花巻 RC 会のお誘いを受けましたが、会費が少し高いということで二の足を踏み、とりあえずスピーチを試みたら如何ですかということで後先考えず受けてしまいました。

先程、会長さんからのお話で 1964 年に小学校へ入学されたということでしたが、私は 1963 年に小学校へ入学しました。

私が 2 年生の時に東京五輪が開催され、結構テレビを見ておりました。アベベ選手が優勝し、円谷選手が 2 位で残念がったことを覚えております。あと数年で東京五輪が開催されますが、前回、東京五輪間近の高揚感と比べ、財政的な問題もあったり、現在はあまり高揚感がありません。時代は変わったものだと感じています。

それから、最近思ったことは前回の東京五輪を見ていた時は終戦から 19 年経過しており、当時、子供ながら昭和 20 年は凄く昔の様な感じがしました。一方、昭和 40 年から現在までの 50 年間はついこの間のように感じます。時代の変化とはこのようなことで終戦からの 20 年間は凄く変化があり、その後もオイルショック、バブル崩壊、地方の停滞があり、日本が現在まで変化したことは確かです。

富士大学は昭和 40 年に創立され現在 52 年が経過しましたが、今日は大学と地域の繋がりについて話してみたいと思います。結論から申しますと、富士大学が花巻市に立地されたのは高度成長のころで全国の工業化が進み、東北の開発も必要であり、同時に開発を推進する人材育成を目的に当時の奥州大学が設立されたわけですが、実際、思うように上手くいかなかったのが現実です。地域との繋がりを奥州大学設立時から声高らかに掲げておりましたが、地域との連携は実現されていませんでした。実際、現在に至るまで地域とつながっている事は、「花巻まつり」「紫陵祭」「花巻市民セミ

ナー」の三つくらいと認識しております。他には運動部学生による市内中学校へのスポーツ指導も行っていました。要するに大学本体というよりは学生が地域の人々と直接肌でふれあう形で地域と繋がり、そして地域の方々も学生を支援するという形で繋がってきたのが現実です。もうひとつ、生涯活動を支援する形で地域の人々と繋がってきたともいえます。こういう形で推移してきました。これらを通じて学生が自然と人格を形成し、地域の人々の繋がりを糧として社会に巣立っていく。また、大学としても地域の生涯教育の振興に応分の形で貢献することが出来てきたと考えております。

花巻祭りに参加したのは昭和 52 年のことでした。大学際を開始したのは創立直後の昭和 42 年でした。当時は学生も活発で弁論セミナー等も開催しておりました。市民セミナーが開催されたのは昭和 60 年でした。以前は学術講演会という形で昭和 53 年から開催されていきました。

地域のつながりという形でいえば、東京以北では唯一司書講習を古くから行ってきました。7 月から 9 月まで花巻に滞在し資格を取得してきました。昭和 43 年からスタートし、司書資格取得者累計は 2436 名、司書補資格取得者は累計 1211 名となっております。講習に参加するために 1 カ月以上花巻に滞在し、花巻を第二の故郷のように親しみを感じている方が多くおります。この司補講習も地域に貢献したひとつの活動と言うことが出来ると思います。

もうひとつ、富士大学には中国、韓国から多くの学生が学びに来ております。このことも地域の国際化を教育面から支える役割を果たしていると考えております。学生活動を主体とした「花巻まつり」「紫陵祭」「花巻市民セミナー」等の地域貢献活動は将来も推進して参りたいと考えております。ただ、それを変えることなく維持することは学生数の減少とともに難しくなっております。富士大学が地域との繋がりを継続していく為に学生の確保が必要になってきます。そのために大学はカリキュラム、大学組織の改革を積極的に進めて参りました。

「富士大学の現状」～中略～(資料 2P、6P 参照)

在籍学生数の岩手県出身割合は 30% を占めておりますが、花巻市出身者は北上市を含めても僅か 5% です。また、年度別入学人数は平成 11 年度、年度別在籍人数は平成 7 年度をピークに大きく落ち込んでおります。現在、やや持ち直しを見せているものの厳しい状況に変わりありません。一方、就職率は大変順調に推移しております。2017 年は 95.3% と実質就職率は東北でトップクラス、全国でも上位 20 以内に入っております。最近では卸小売りから金融、一部上場会社、公務員で全体の 4 割を占めます。そして、岩手県への就職率は 30% 台となっております。いわゆる、就職率は高いのですが、学生が来てくれないという状況が続いております。やはり、学生の就職率、学生の質を高める必要があります。そして、花巻、北上地区からより多くの学生が入学してくれないと地域との繋がりを維持できないと痛感しております。

「カリキュラム改革の取り組み」(要点のみ、詳細は 3、4P 参照)
教養演習の体系化・専門演習の改革・専門ゼミの設置・キャリア教育の充実・地域課題発見解決型科目の設置・地域定住人材育成プログラムの実施・英語による授業の実施・授業規律の確立⇒従来にも増して ①基礎学力向上、②PBL 型授業、③地域課題発見解決型授業の実施、④汎用的実務能力の実施、⑤資格取得支援に取り組んでおります。

「地域との連携」(要点のみ、詳細は 5P 参照)

富士大学は連携活動を組織し、連携のための学内機関を設立してきました。①花巻市、花巻商工会議所、花巻信用金庫との連携協定、②富士大学地域連携推進連絡協議会設置、③花南コミュニティ会議との連携協定締結、④岩泉、西和賀、矢巾町との連携協定及び高大連携協定、⑤富士大学スポーツ振興アカデミーの設置、⑥富士大学異文化交流センター、⑦福祉ボランティア研究センター、⑧岩手大学 COC+「いわてふるさと創造協議会」への参加

「富士大学の地域への開放・交流」(要点のみ、詳細は 5P 参照)

①大学施設、設備の市民への開放、②ｽﾍﾟｰｽセンターの開放、③図書館の一般開放、④ラーニング commons の開放、⑤市民公開講座の開設

「まとめ…」

学生が自由に活動出来ることが大学の活力の根源です。その為には学生が入学してくれるようにカリキュラムの改革、地域貢献活動、大学の開放を進め、学生が勉強を通して市民と自由に交流出来るスペースに大学が変わっていければと思っています。このような状況をご理解頂き、ご支援頂ければ幸いです。本日はありがとうございました。



◆出席報告

■ニコニコ Box

33 人中 15 人出席

出席率 53.5% 前回修正 53.5%

◇メーキャップ なし

＜立花 徳久 君＞ 本日は富士大学副学長の中村良則教授のゲストスピーチありがとうございます。富士大の O B の方々が花巻の地域経済を支えている部分が非常に大きく感じます。是非、中村先生も花巻 R C に入会して頂きたいと切にお願いいたします。

＜阿部 一郎 君＞ 富士大学副学長中村良則教授、本日は花巻 R C での講演ありがとうございます。富士大学が花巻地域とつながり、多大な貢献していただいている事を再認識させていただきました。今後の活躍をご祈念致します。

＜三田 望 君＞ 中村副学長様、ご講演ありがとうございます。富士大学と花巻地域とのパイプ役として、これからも交流を深めていって下さい。ぜひ、花巻 R C 入会も前向きにお考え下さい。

＜鹿討 康弘 君＞ 富士大学中村副学長、本日は大変勉強になりました。27 日、県内の児童養護施設 7 施設対抗ふれあいソフトボール大会のボランティアで審判のお手伝いをさせて頂きました。石鳥谷ライオンズクラブが後援でしたが、みなさん開会式が終わってすぐにお帰りになりましたので、私はラットランドで頂いた「ROTARIAN AT WORK」の T シャツに着替えて、ちょっぴりロータリーの宣伝をして参りました。

＜佐々木 史昭 君＞ 富士大学副学長中村良則教授におかれましては、本日は大変興味深いゲストスピーチをいただき、ありがとうございました。是非、これからも花巻ロータリークラブとの良きお付き合いを、よろしくお願い申し上げます。

＜藤田 勝敏 君＞ 杵岐例会に参加できず、申し訳ございません。中村先生、本日は地域と大学の関わりについて参考なるお話をありがとうございました。

◇第 3058 回例会のメニュー

『鯛のパン粉焼き タルタルソース添え』



◆今後のプログラム

9/12(火) 会員卓話 担当:谷村 仁君

9/19(火) 音楽夜例会(菊の会合同) (トランペット演奏 菊池 巖 様)

9/26(火) 会員卓話 担当:下町 壽男君

10/3(火) 慶祝 米山奨学金贈呈 米山奨学生スピーチ(コウ・シヘイさん)

クラブ会報委員会

委員長:藤田 勝敏 (今回担当) 副委員長:横田 裕之
AD:橋川 秀治、鹿討 康弘